

全国高校生体験活動顕彰制度

地域探究プログラム

趣旨 高校生の地域づくりや地域の課題解決などに関する体験活動をととして、問題発見・解決能力を身に付けた新たな価値を創造する人材の育成に資するとともに、それぞれの実践活動の成果や成長を適切に評価し、青少年の体験活動に関する社会的な認知を高める。

企画運営のポイント

1. 地域の起業家や有識者、行政関係者を講師としたフィールドワークを通じて、地域の課題の発見、整理と検討、発表という一連のプロセスを1泊2日で学習できるようにした（オリエンテーション合宿）。
2. 道内外の教育行政関係者を評価委員として委嘱し、実践活動報告書やプレゼンテーションの評価のほか、高校生の探究活動を深め、関心・意欲をさらに引き出す助言が得られるようにした（地方ステージ）。

期日 令和6年4月11日（木）～令和6年9月17日（火）（オリエンテーション合宿）
令和7年1月22日（水）（地方ステージ）

対象 北海道日高高等学校 1年生～2年生
北海道富良野高等学校 2年生（※1）
北海道剣淵高等学校 2年生（※1）
※オリエンテーション合宿は国立大雪青少年交流の家の事業に参加し、当所の事業には地方ステージのみ参加。



人数・内容

オリエンテーション合宿（北海道日高高等学校が参加）			
日付	内容	場所	参加者数
4/11(木)・4/12(金) 【宿泊】	ガイダンス、ワークショップ・講話等「地域づくりの理解と課題設定の基礎」、講義・演習①「地域づくりと探究」、発表①	国立日高青少年自然の家 日高町内（フィールドワーク）	12名 (1年生のみ)
4/25(木)	実践活動ガイダンス	北海道日高高等学校	18名
5/13(月)	講義・演習②「地域課題の探究」	北海道日高高等学校 日高町内（探究活動）	16名
9/17(火)	講義・演習②「地域課題の探究」、発表②	北海道日高高等学校	14名
地方ステージ（北海道ブロック）（北海道富良野高等学校・北海道剣淵高等学校が参加）			
日付	内容	場所	参加者数
1/22(水)	開会式、プレゼンテーション、審査、閉会式	大雪クリスタルホール	28名

参加者の声

- ・地域の課題をどのように解決したらよいか考えることができた（オリエンテーション合宿）。
- ・考えたアイデアについて人と議論できるようになった（オリエンテーション合宿）。
- ・自分の学校以外の探究活動を知ることができた（地方ステージ）。
- ・評価委員からの助言が今後の活動に役立つ（地方ステージ）。

【成果】

- ・1泊2日の宿泊期間に探究活動のプロセスを模擬的に学んだ内容を、学校における探究活動のなかで発揮し、地域の課題についての施策を提起することができた（オリエンテーション合宿）。
- ・他校の発表や評価委員の助言によって、参加者の学びに向かう力を培い、今後の活動に見通しを与える機会とすることができた（地方ステージ）。

【課題】

- ・施設で依頼した伴走者（講師）から生徒に対して打診のあったことについて、規則上、応えられないことがあった。活動開始前に、伴走者と規則についての詳細な打合せをしておく必要がある（オリエンテーション合宿）。
- ・初めての外部会場での開催となったため、設営や動線について急遽対応することが多々あった。評価委員や参加校の引率教員も含めて、事前の打合せの場を設けてよく検討する必要がある（地方ステージ）。